

和文誌「藻類」投稿規定

1. 編集方針

日本藻類学会会則第3条および第13条に基づき、和文誌「藻類」を発行する。本誌は、本邦における藻類学の発展と普及をはかることを目的とし、和文で刊行することによりその研究内容と情報が広く効率よく伝わる報文と記事を扱う。

2. 報文と記事の区分

本誌には、他の刊行物に発表されていない以下の区分の報文と記事を掲載する。なお、複数の報文と記事からなる特集や、ミニレビュー・学術資料・記事の新しいシリーズを提案することもできる。

<報文>

- ・原著論文（論文と短報）：藻類学に関する先行研究を踏まえた独創的な研究内容で、提示するデータの質と量が十分にあり、一貫した論理性のある報文
- ・総説：藻類学に関する当該分野の現状と課題を総括し、新たな展望を提示する報文
- ・ミニレビュー：藻類学に関する最新の研究動向を踏まえた藻類学最前線、最終講義、藻類と学名などの報文
- ・学術資料：藻類学の発展に寄与する資料的価値がある研究技術紹介、研究方法解説、学術調査記録、藻類フロラ情報、民俗藻類学の旅などの報文

<記事>

国際会議・学術集会案内及び参加記、博物館と藻類、研究機関紹介、藻類アート情報、藻の見遊山、遊藻子、書評、学会関連記事（学会録事、総会資料、学会賞受賞記念、Phycological Research 和文要旨、大会案内、大会開催記、会員異動、学会・シンポジウム情報、学会事業案内）など

3. 原稿の受付

原稿は「和文誌「藻類」原稿執筆要項」に従って作成すること。本文を和文とし、すべての共著者が投稿に同意していることを投稿票に明記した上で、デジタルデータを提出する。投稿票は日本藻類学会 WEB サイト (<http://sourui.org/publications/index.html>) よりダウンロードし、必要事項を記入・提出する。他誌・書籍からの図表の転載がある場合には必ず著者の責任において転載許可を得るとともに、転載許可を得たことを投稿票に明記する。本文は Word 等で、図表は JPEG、EPS、TIFF、PDF 等の十分な画質(350 dpi 以上)で1つずつ別々のファイルで提出し、本文の Word ファイルなどに貼り付けない。なお、表は簡単なものについては Word や Excel ファイルでの提出も可とするが、複数箇所セルの結合がある様な複雑なものについては、必ず PDF ファイル等で提出する。図表の説明は本文の末尾に記載する。報文の原稿は編集委員会委員長と希望する論文通信担当編集委員に同時に、記事は編集委員会委員長に電子メールにて提出する。

<原稿送付先>

1. 委員長：

芹澤 如比古（山梨大学）yserisawa@yamanashi.ac.jp

2. 論文通信担当：報文の原稿は通信を希望する1名を選択し、委員長宛と同時に送付して下さい（特に希望がない場合は委員長宛のみでも可）。

岩滝 光儀（東京大学）iwataki@anesc.u-tokyo.ac.jp

仲田 崇志（横浜国立大学）nakada-takashi-jk@ynu.ac.jp

羽生田 岳昭（神戸大学）hanyut@kobe-u.ac.jp

市原 健介（北海道大学）ichihara@fsc.hokudai.ac.jp

平川 泰久（筑波大学）hirakawa.yoshi.f@u.tsukuba.ac.jp

矢吹 彬憲（海洋研究開発機構）yabukia@jamstec.go.jp

阿部 真比古（水産大学校）abemahi@fish-u.ac.jp

島袋 寛盛（瀬戸内海区水産研究所）bukuro@affrc.go.jp

木村 圭（佐賀大学）kimurak@cc.saga-u.ac.jp

四ツ倉 典滋（北海道大学）yotsukur@fsc.hokudai.ac.jp

北山 太樹（国立科学博物館）kitayama@kahaku.go.jp

倉島 彰（三重大大学）kurasima@bio.mie-u.ac.jp

豊田 健介（日本歯科大学）toyoda@tky.ndu.ac.jp

秋野 秀樹（稚内水産試験場）akino-hideki@hro.or.jp

芹澤（松山）和世（山梨大学）shiwogusa@gmail.com

なお、送付先の変更は和文誌編集委員会にて決定する。

4. 報文の審査

報文は区分に基づく審査が、論文通信担当編集委員（編集実行委員）を窓口として2名以上の匿名査読者によってなされる。投稿者は原稿を提出する際に、希望する査読候補者4名とその連絡先を知らせることができる。審査の結果、論文の内容に問題があると論文通信担当編集委員が判断したときは投稿者にその旨を通知し、改訂を求める。掲載が不適当であると編集委員会委員長が判断した報文は理由を明記して投稿者に返却することがある。記事については編集委員会委員長が掲載の可否を判断する。

5. 投稿資格

編集委員会が依頼した場合を除き、報文および記事の著者の中には少なくとも1名の日本藻類学会会員が含まれていなければならない。投稿票の著者名一覧に本会会員である者を明記する。

6. 制限頁とカラー印刷

本刷（刷り上がり）の頁数で、論文は10頁以内、短報は4頁以内、総説は16頁以内、ミニレビュー・学術資料は8頁以内、記事は2頁以内を無料とする（学会関連記事には制限を設けない）。これを超過する場合は、著者が超過頁料金（1頁あたり6,000円）を負担することで掲載を認める。1頁の刷り上がりの文字数は図表なしで2,700字程度である。その他、折り込み頁、カラー印刷などの費用は著者負担とする。カラー印刷料金は2頁まで1万円である。3頁以上は要相談。本学会のWEBサイト上で公開されるPDF版のみカラー図表を希望する場合は誌面用のモノクロ図表で審査と校正まで行い、最後にPDF版で使用するカラー図表を提出する。

7. 別刷り

別刷り料金（円）は下記に示す表の通りである。

部数	1-2p	3-4p	5-6p	7-8p	9-10p	11-12p	13-14p	15-16p
50部	2,100	2,100	2,900	3,700	4,500	5,300	6,100	6,900
100部	2,100	3,700	5,300	6,900	8,500	10,100	11,700	13,300
150部	2,900	5,300	7,700	10,100	12,500	14,900	17,300	19,700
200部	3,700	6,900	10,100	13,300	16,500	19,700	22,900	26,100
250部	4,500	8,500	12,500	16,500	20,500	24,500	28,500	32,500
300部	5,300	10,100	14,900	19,700	24,500	29,300	34,100	38,900
350部	6,100	11,700	17,300	22,900	28,500	34,100	39,700	45,300
400部	6,900	13,300	19,700	26,100	32,500	38,900	45,300	51,700
450部	7,700	14,900	22,100	29,300	36,500	43,700	50,900	58,100
500部	8,500	16,500	24,500	32,500	40,500	48,500	56,500	64,500

8. 著作権

和文誌「藻類」に掲載された報文・記事等のすべての著作権は、日本藻類学会に帰属する。

（2021年7月10日改定）